

2022（令和4）年さけます来遊状況（第2報：9/30現在）

4 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

- 北海道の年齢別来遊数では、4年魚（2018年級）は前年および平年*1を上回るが、5年魚（2017年級）は前年および平年を下回る
- 北海道太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では4年魚は前年の148%、5年魚は前年を下回る。
- 北海道日本海側（オホーツク海区および日本海区）では4年魚は前年の178%、5年魚は前年を下回る
- 北海道のサケの平均重量は2.90kgで前年を下回り、1989（平成元）年以降で最も小さい

*1：平年とは、1994（平成6）～2021（令和3）年の平均値

・サケの年齢組成（北海道）

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定の途中経過をもとに、9月30日現在における年齢別来遊数を推定したところ、4年魚（2018年級）が全体の74%と最も多く、次に5年魚（2017年級）が18%を占めました。4年魚は前年同期の172%と前年を大きく上回っていますが、5年魚は前年同期の51%と大きく下回っています（図1）。平年同期との比較では、4年魚は114%と上回っていますが、5年魚は24%と1994（平成6）年以降で3番目に少ない状況です。

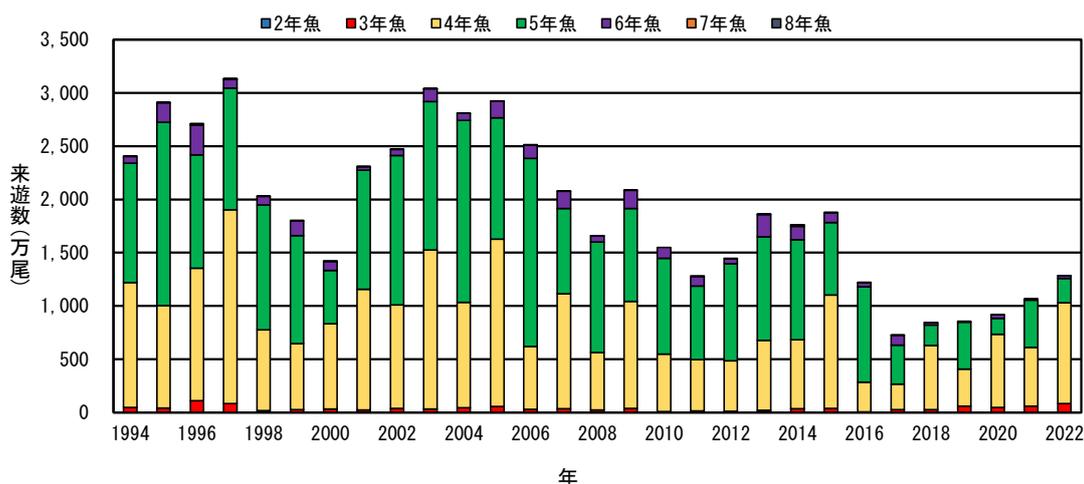


図1. 9月30日現在のサケ年齢別来遊数（北海道）.

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2018年級を4年魚までの来遊数（2～4年魚の来遊数）で比べた場合、1992～2017年級の平均の119%の水準となっています。また、5年魚である2017年級の来遊数（2～5年魚の来遊数）は、1992～2016年級の平均の47%の水準となっています（図2）。

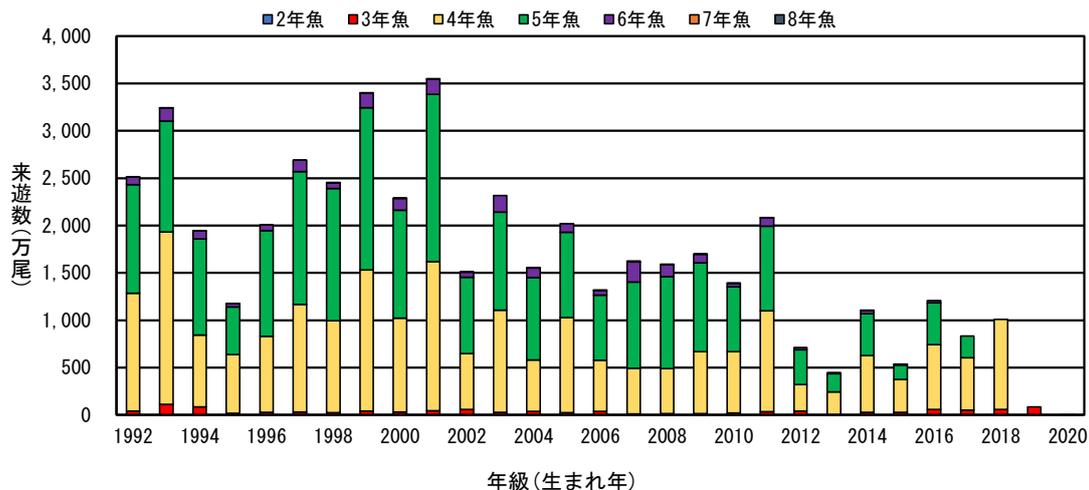


図2. 9月30日現在のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）.

地域別にみると、北海道太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では、4年魚の来遊数は前年同期の148%、平年同期の37%、5年魚の来遊数は前年同期の54%、平年同期の6%となっており、5年魚において前年同期および平年同期を下回っています（図3）。

北海道日本海側（オホーツク海区および日本海区）では、4年魚の来遊数は前年同期の178%、平年同期の191%となっており、1994（平成6）年以降で2番目に多い値となっています。5年魚は前年同期の50%、平年同期の41%となっており、1994（平成6）年以降で3番目に少ない値となっています（図4）。

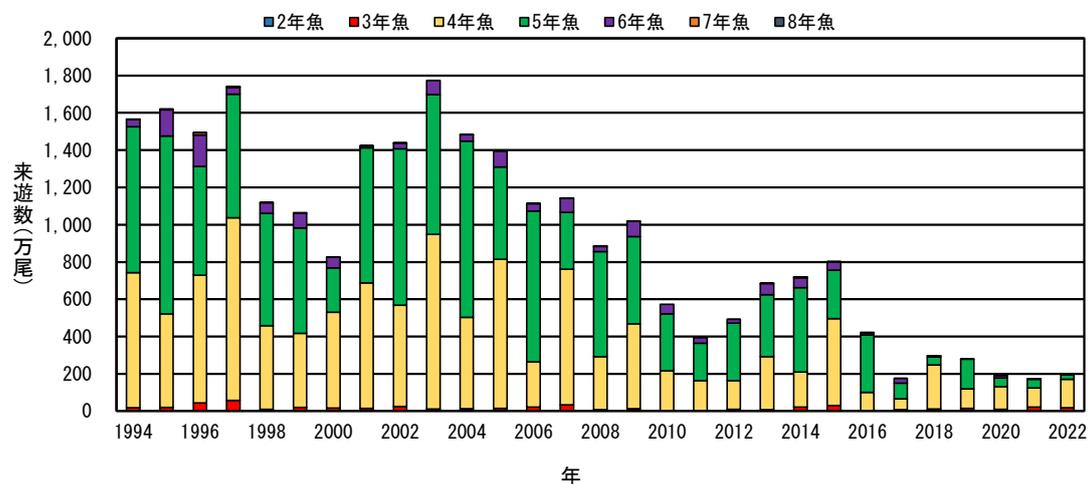


図3. 9月30日現在のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

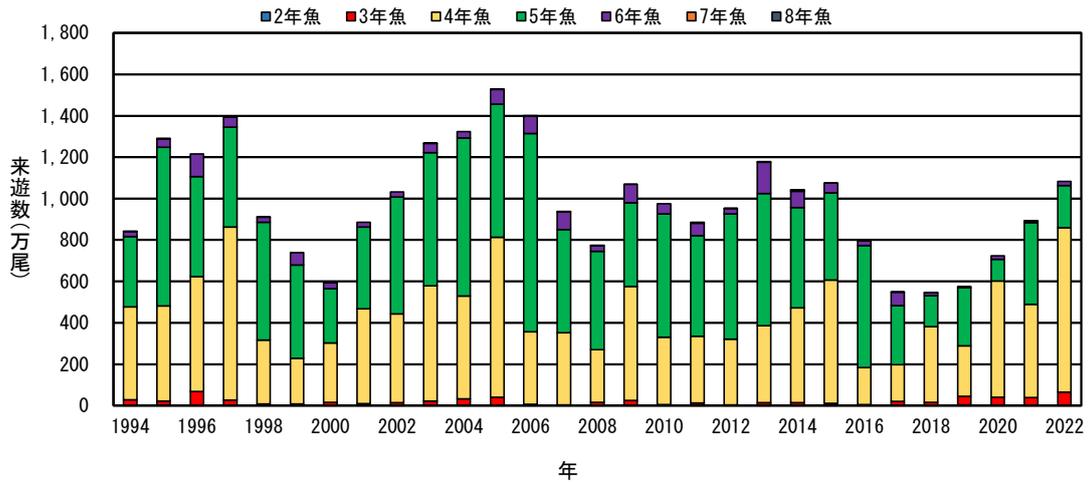


図4. 9月30日現在のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における9月30日現在のサケ1尾当たりの平均重量（漁獲数と漁獲重量から算出）は2.90kgであり、前年同期の平均体重3.28kgを下回り、1989（平成元）年以降で最も小さくなっています（図5）。

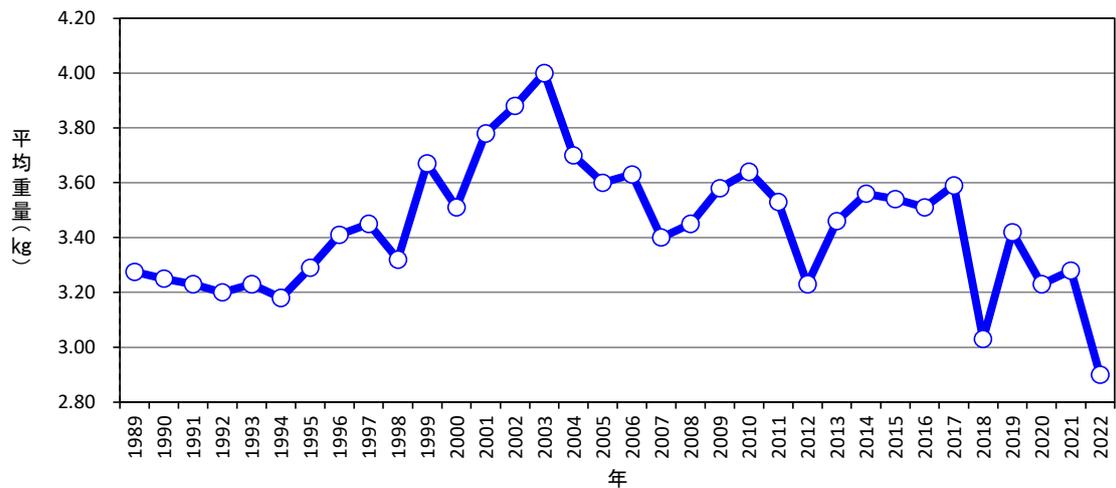


図5. 9月30日現在のサケ平均重量（北海道）.